

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	法と政治 (欧州統合の政治) Law and Politics (The Politics of European Integration)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:和達 容子 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部棟 3-305 /TEL:819-2729 /オフィスアワー:水曜日 12:30～13:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 授業のねらい: 欧州統合の話をきっかけとして、日常的に社会および世界の動きに知識と理解をもつこと。また、その知識と理解を高めること。 授業方法: 講義形式とする。必要に応じてビデオ教材などを用いる。 授業到達目標: 欧州統合の理念的な意義や EU 発展の経緯・実際の概略を説明できるようにする。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 欧州連合 (EU) の発展経緯や組織・政策・課題を解説し、ヨーロッパの国際関係・社会および国際政治へ影響力と存在感を示し始めた EU の理念と実際を理解してもらう。 第1回 授業の進め方について 第2回 EU とは何か 第3回 欧州統合の歴史①第 2 次世界大戦後の欧州秩序再編成 第4回 欧州統合の歴史②欧州石炭鉄鋼共同体の成功と欧州防衛共同体の失敗 第5回 欧州統合の歴史③欧州経済共同体の設立 第6回 欧州統合の歴史④ド・ゴール外交と欧州統合 第7回 欧州統合の歴史⑤経済停滞と通貨統合への布石 第8回 欧州統合の歴史⑥域内市場統合への道 第9回 欧州統合の歴史⑦冷戦終結と経済通貨同盟 第10回 欧州統合の歴史⑧改革条約 第11回 超国家的機構としての課題:相対化する国家と民主主義 第12回 拡大:深化とのジレンマ 第13回 多様性と統一性 第14回 国際社会の中の EU 第15回 全授業の総括 (試験を含む)			
キーワード	欧州、国際機構、政治、外交、国家		
教科書・教材・参考書	教科書は未定。参考書として以下を挙げておく。あとは、授業中に適宜紹介する。 ・ 庄司克宏『欧州連合―統治の論理とゆくえ』(岩波新書、2007 年)。 ・ 脇坂紀行『大欧州の時代―ブリュッセルからの報告』(岩波新書、2006 年)。 ・ 田中素香『ユーロ:その衝撃とゆくえ』(岩波新書、2002 年)。 ・ 加藤秀治郎/渡邊啓貴『国際政治の基礎知識』(芦書房、2002 年)。		
成績評価の方法・基準等	○期末試験(100%)。評価の仕方の詳細および授業の進め方については、第 1 回目の授業の際に説明する。それを理解した上で受講すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			